

MUTOH大型インクジェットプリンタ5機種「2021 Pinnacle Product Award」受賞

品質、性能、生産性において卓越した貢献をし、印刷業界を向上、または発展させた製品に対して与えられる PRINTING United Alliance (米国印刷工業会) の主催する「2021 Pinnacle Product Award」

MUTOHプリンタは10年連続の受賞となりました。



MUTOHは、今後も業界最高水準の品質を実現する製品を提供してまいります

概要 (2021年9月30日現在)

商号 MUTOHホールディングス株式会社
(英文社名 MUTOH HOLDINGS CO., LTD.)
設立 1952年(昭和27年)3月5日
(創業:1942年(昭和17年)12月)
資本金 101億99百万円
本社事務所 東京都世田谷区池尻三丁目1番3号
TEL: 03-6758-7100 (代)
グループ事業内容
・情報画像関連機器 (大判インクジェットプリンタ・3Dプリンタ) の開発・製造・販売
・情報サービス (CAD・システムソリューション、ソフトウェア) の開発
・設計製図計測、制御機器の開発・製造・販売
ホームページ <https://www.mutoh-hd.co.jp>

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載
<https://www.mutoh-hd.co.jp>
※やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合には、「日本経済新聞」に公告いたします。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

(電話照会先)
インターネット
ホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
(よくある質問(FAQ)) https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認くださいませ。
【住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について】
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
【未払配当金の支払について】
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
【特別口座について】
株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構) を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社口座 (特別口座といえます) を開設しております。
特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお問い合わせいたします。

株主優待制度

株主の皆様の日頃のご支援にお応えし、当社株式への投資の魅力をより一層高めることを目的に、株主優待制度を設けております。

□ 対象となる株主様
毎年3月末現在の株主名簿に記載された、100株以上の株式を保有していただいている株主様を対象といたします。

□ ご優待内容
ご所有株式に応じて「選べるカタログギフト」を贈呈
Aコース 1,000株以上 10,000円相当
Bコース 500株以上 ~ 1,000株未満 5,000円相当
Cコース 100株以上 ~ 500株未満 3,000円相当

●商品イメージ



写真は実際のギフト内容とは異なります。
なお、お申込みには期限がございます。期限内にお申込みがない場合、優待権利が喪失いたします。ご注意ください。



MUTOHホールディングス株式会社

Interim Business Report

2021年4月1日から2021年9月30日まで



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、2021年度(第73期)中間報告書をお届けし、当期の業績および当社グループにおける取り組みにつきまして、ご報告申し上げます。

MUTOHホールディングス株式会社
代表取締役社長 礒邊 泰彦

事業の経過および成果の説明

2021年度中間期における世界経済環境は、新型コロナウイルス感染症が世界的には未だに収束の見えない状況にある中、ワクチン接種の広まりとともに経済活動は活発化し始めています。一方、海上輸送におけるコンテナ不足、半導体を中心とした電子部品の不足などサプライチェーン問題の顕在化により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、各部門において収益性の改善に継続して取り組み、適正在庫運営、保有資産の圧縮、固定費の抜本的見直しなどキャッシュ・フローを重視した施策を推進してまいりました。さらに、コロナ禍の下、働き方改革に取り組むとともに、インターネットを活用した営業活動など、新常态下での新しい経営の姿を模索してまいりました。

3Dプリンタならびに設計計測機器においては、従来の商流での販売活動に加えてインターネット販売にも注力するとともに、当社グループ製品での実際の活用事例を紹介するオンラインセミナーなどを、積極的に展開しております。

一方、主力事業となる大判インクジェットプリンタ事業においては、当社初の自社開発RIPソフトウェア「VerteLith™」のXpertJetシリーズへの対応を順次拡大する中、発色性、耐候性、メンテナンス性に優れ、米国環境基準GREENAPAR Gold認証を取得した、環境に配慮したオペレータに優しい新溶剤インク「VJ-MS3」を採用した1.3m幅メディア対応の「XpertJet™ 1341SR Pro」を発売。併せて、エコソルベントインク「MS41」に新色のオレンジを追加するなど、サイングラフィックに最適な「美しさと「インパクト」のある印刷を実現しています。

また、MUTOHの大判インクジェットプリンタは、品質、性能、生産性

において卓越した貢献をし、印刷業界を向上、または発展させた製品に対して与えられる、PRINTING United Alliance (米国印刷工業会) の「2021 Pinnacle Product Award」を5製品で受賞いたしました。MUTOHプリンタは10年連続の受賞となりました。

MUTOHはこれからも引き続きプロフェッショナルの要望と期待に応える製品を展開し、新しい付加価値やアプリケーションを提供してまいります。以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は78億1百万円(前年同期比24.4%増)、営業利益は2億38百万円(前年同期は5億76百万円の損失)となり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた前年同期から大幅に回復いたしました。

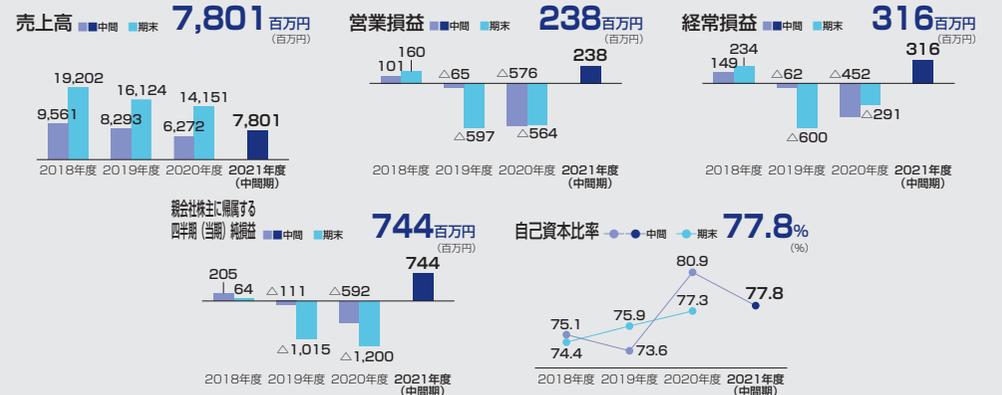
経常利益は、受取配当金、持分法による投資利益の増加などにより3億16百万円(前年同期は4億52百万円の損失)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に固定資産売却益6億78百万円の計上、法人税等1億51百万円の計上などにより、7億44百万円(前年同期は5億92百万円の損失)となりました。

なお、2021年度の進期業績予想では、当社グループは、営業損益の改善を最重要課題として事業構造改革に取り組み、最近の業績の動向、為替環境の円安傾向継続等を踏まえ、前回予想を上回る見込みとなりました。

以上により、売上高160億円、営業利益3億20百万円(前回予想値2億70百万円の増加)、経常利益4億20百万円(前回予想値3億40百万円の増加)、親会社株主に帰属する当期純利益5億円(前回予想値8億50百万円の増加)を見込んでおります。

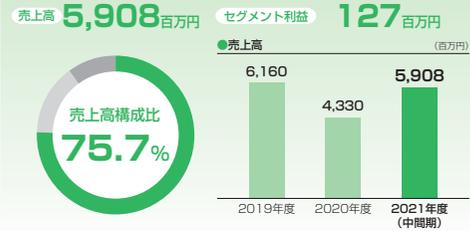
皆様には、今後ともご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

連結決算ハイライト



事業セグメントの概況

情報画像関連機器事業 (アジア・北アメリカ・ヨーロッパ)



事業全体では、コロナ禍の下、ワクチン接種の広まりとともに経済活動の活発化による経営環境の好転に加え、為替環境の良化により、売上高59億8百万円（前年同期比36.4%増）、セグメント利益1億27百万円（前年同期は5億57百万円の損失）の増収増益となりました。

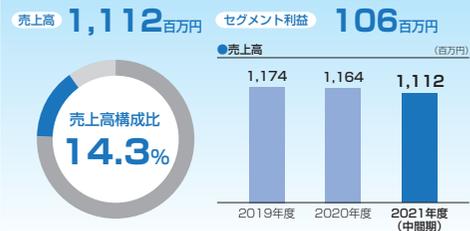
なお、各地域別の経営成績は以下のとおりです。

アジア地域：売上高18億72百万円（前年同期比19.7%増）、セグメント利益68百万円（前年同期は4億50百万円の損失）となりました。

北アメリカ地域：売上高16億35百万円（前年同期比36.8%増）、セグメント利益48百万円（前年同期比52.5%増）となりました。

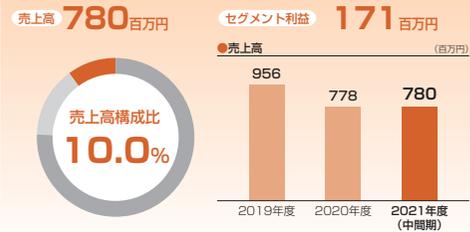
ヨーロッパ地域：売上高24百万円（前年同期比52.8%増）、セグメント利益10百万円（前年同期は1億39百万円の損失）となりました。

情報サービス事業



新型コロナウイルス感染症の影響により販売は微減となりましたが大幅増益となり、売上高11億12百万円（前年同期比4.4%減）、セグメント利益1億6百万円（前年同期比107.6%増）となりました。

設計計測機器事業、不動産賃貸事業ならびにその他の事業



(設計計測機器事業)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響がありながらも概ね堅調に推移し、売上高5億54百万円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益87百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

所有不動産の一部を自社利用物から賃貸物件へ転用したことにより増収増益となり、売上高99百万円（前年同期比13.8%増）、セグメント利益95百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

(その他の事業)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けているものの事業構造改革等により増収増益となり、売上高1億26百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント損失10百万円（前年同期は14百万円の損失）となりました。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期末 2021年9月30日現在	前第2四半期末 2021年9月30日現在	前期末 2021年3月31日現在
流動資産計		15,113	14,182	15,336
固定資産計		10,963	10,383	9,886
有形固定資産		3,292	3,589	3,455
無形固定資産		83	541	75
投資その他の資産		7,588	6,251	6,355
資産合計		26,077	24,565	25,222
負債計		5,040	3,981	4,954
流動負債		3,519	2,519	3,553
固定負債		1,520	1,461	1,400
純資産計		21,036	20,584	20,268
株主資本		21,997	21,989	21,381
その他の包括利益累計額		△1,715	△2,116	△1,872
非支配株主持分		754	711	759
負債・純資産合計		26,077	24,565	25,222

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期 自2021年4月1日 至2021年9月30日	前第2四半期 自2020年4月1日 至2020年9月30日	前期 自2020年4月1日 至2021年3月31日
売上高		7,801	6,272	14,151
売上原価		5,121	4,452	9,873
販売費および一般管理費		2,441	2,396	4,842
営業損益		238	△576	△564
営業外収支		78	124	272
経常損益		316	△452	△291
特別利益		678	10	52
特別損失		66	91	833
税金等調整前損益		929	△532	△1,071
法人税等 他		△185	△59	△128
親会社株主に帰属する純損益		744	△592	△1,200

TOPICS

XpertJet 1341SR Pro

高生産性・高画質・ハイコストパフォーマンス
1.3m 幅メディア対応のエコソルベントプリンタ登場！



コンパクトボディに最新の画質技術を搭載、手頃な価格でコストパフォーマンスを追求。多くのユーザーが求める機能と高いユーザビリティで、日々のワークフローの効率化を実現します。

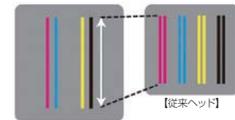
XpertJet 1341SR Proは、高品質・高画質・高生産性を実現するMUTOHプリント技術が満載！

三位一体により実現する高画質印刷

新型プリントヘッド "AccuFine"



高速時にもバンディングが少なく高品質なベタ印字を可能とした新型プリントヘッド

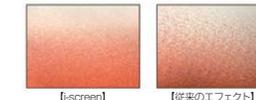


※実際のインク配列とは異なります

新作画エフェクト "i-screen"



人の目による見え方を考慮したドットの配置でバンディングを軽減、滑らかな作画を実現する新作画エフェクト



【i-screen】 【従来のエフェクト】

純正RIPソフトウェア



プリンタ性能を最大限に引出す純正RIPソフトウェア "VerteLith"



滑らかに粒状性を抑えた美しい画質を実現

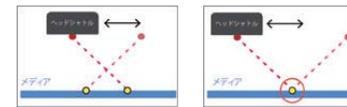
オリジナルハードトーン技術
「MUTOH Clear Tone」

自動化・効率化を実現するMUTOH 独自の技術

自動Bi-D調整機能 "DropMaster 2"



双方向印刷時のインク着弾位置を自動調整する自動Bi-D調整機能

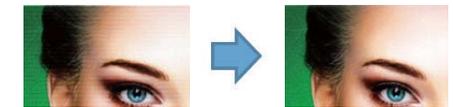


【自動Bi-Dなし】 【自動Bi-Dあり】

自動送り補正機能 "FEED MASTER"



用紙送り補正の自動化を実現した自動送り補正機能



【送り補正前】 【送り補正後】

ノズル選択機能 "Nozzle Area Select"



ダウンタイムなしで継続印を可能としたノズル選択機能

メディア残量管理機能 "Media Tracker"



複数メディアの管理を効率化
ロールメディア残量管理機能

屋内外のサイン、展示会のグラフィック、カーラッピング、POPなど、さまざまな市場に最高品質の "Made in Japan Quality" をお届けします